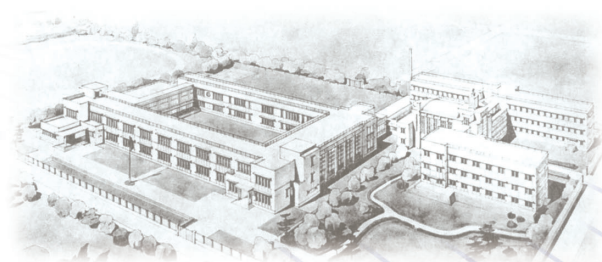


# 会報

第46号

## CONTENTS

- 1 会長挨拶
- 学長挨拶
- 2 理事長挨拶
- 3 大学創立60周年
- 4 美しく生きる
- 5 学生支援事業
- 7 2009年度 活動報告
- 8 2010年度 活動情報
- 9 支部だより
- 10 同窓会より
- 11 総会報告
- 13 大学のページ
- 15 ホームカミングデー



1930年



1975年



2008年



## 会長に就任して

ノートルダム清心女子大学同窓会  
(社)教育振興ノートルダム清心会

会長 西室典子



このたび、ノートルダム清心女子大学同窓会並びに、社団法人教育振興ノートルダム清心会会長に任ぜられました、二十八期国文学科卒業の西室典子でございます。このような大役を仰せ付かり、まことに身の引き締まる

思いでございます。

昨年二月に再設立された同窓会は、現在、社団法人教育振興ノートルダム

## 現代人にとって大切なもの

ノートルダム清心女子大学 学長 高木孝子



現代は社会の変化が加速化した時代だといわれ、金融工学やメディアの変化も過去にないスピードで進んでいます。この「速度の文化」は、人間の歴史感覚も変えてしまうか

や新奇なモノ、新しく目先が変わっているものを追いかけることに追われ、そのために過去を振り返る余裕が失われているように思えます。

フランスの著名な歴史家アラン・コルバン氏は、現代とは「平らなスクリーンの時代」であると言っています。それは過去への関心が薄れ、現在に対する浅い関心だけが過剰になっている時代だから

## 人生のレポート

ノートルダム清心学園 理事長 渡辺和子



ほぼ二十年ぶりに岡山に戻ってきてから一年半がすぎました。「お帰らない、久しぶりに学生、小学生、園児たちの元気な姿、声に囲まれて、毎日感謝のうちに、幸せに過ごしております。

「神のお植えになったところであいていなさい」という言葉は、私が三十五歳で岡山に派遣され、翌年、思いがけず学長という難しい立場に置かれた時、一人の神父がくださった英語の詩の冒頭の一行でした。

その詩は続けて、「咲くということは、仕方がないと諦めることではありません。咲くということは、自分も幸せに、周囲も幸せにして、神が私をここに植えになったのは、間違いでなかったと示しながら生きることなのです」と書かれていました。

「こんなはずではなかった」という思いの強かった私に、神が与えてくださったお訓でした。そしてそれは、私たちの創立者、マザー・ジュリーの生き方そのものだったのです。

マザーは二十代の中頃から体が不自由になり、奇跡的な治癒までの約三十年をベットに置かれて、過ごした人でした。修道会設立後は、会員を全世界に送りたいと願うマザーの志に許可を与え

清心会と二本立てで活動しておりますが、国の法人制度改革下での清心会の行く末も含め、そのあるべき姿を熟慮すべき重要な時期にございます。誰のための同窓会なのかということを再確認するとともに、先輩方が築いてこられた建学の精神に則った良き伝統を守りながら、「変えるべきこと」「変えずに守るべきこと」を勇氣をもって決断していきたいと考えております。

一人格としての根幹を形成するうえで大切な時間を与えてくださった母校に、少しでもご恩返しができたらと思っております。大学あつての同窓会ということ肝に銘じ、微力ではございますが精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 退任の御挨拶

ノートルダム清心女子大学同窓会 前会長 長野育子  
(社)教育振興ノートルダム清心会



このたび、任期満了に伴い、ノートルダム清心女子大学同窓会並びに、社団法人教育振興ノートルダム清心会

への不安が消え、一九八〇年代以降、特に金融派生商品を生み出す金融工学が発達し、金融業界では複雑な数学を駆使する金融工学をとりいれた証券会社の力が増えます。サブリイムロ

二十一世紀に入っても、人々はさらなる斬新さを追い求めています。しかしながら一昨年初、アメリカ合衆国に端を発した金融危機以降、特に金融機関の自由な行動を助長した市場主義を断ち切ろうとする動きが出てきています。もとより、混沌する不透明な時代の到来を強く印象づけられた人々は悩み、多くの議論がなされています。しかし、その中で確

遇する嫌なことや、思うままにならないことをしっかりと受け止めて、そのおかげで成長してゆきたいものでございます。どうか、皆様が母校で修得した成果を、そして母校で培った教養を、これからの

「愛の反対は憎しみでなく、無関心です」と、マザー・テレサがよく言っておられました。

神のごとくゆるしたい  
ひとが投ぐる憎しみをむねにあなたため  
花のようになったらば  
神のまえにささげたい (八木重吉)

許しがたいことがあるものです。そんな時に、「神さま、本当に口惜しいけれど我慢しますから、どこかで、もっと辛い思いをしている人の苦しみを、少し軽くしてあげてください」と祈りましょう。このような神とのコミュニケーションは、立派な祈りになるのです。

私たちが、胸にあたたためて、いつか花のようになった捧げものを、神は、この上ないプレゼントとして納めてくださるに違いありません。

聖書の中に(テサロニケ15章)  
いつも喜んでいなさい  
絶えず祈りなさい  
どんなことにも感謝しなさい  
と書かれていて、「これこそ、神があなたがたに望んでおられることなのです」と書かれています。

マザー・ジュリーは、この「喜び、祈り、感謝」を、置かれたところで実行した女性でした。

喜び、祈りを生み出すことも決して容易ではありませんが、感謝しがたい状況の中で感謝することは、不可能に思えることがあります。地震、台風等の天災、愛する人の死、病氣、裏切り、人間関係のこじれなど。

でも、善い神さまは、これら試練に耐える力、逃れる道を備えていてくださる

長を退任させていただく事になりました。私が会長に就任いたしましたのは、同窓会が法人化されて四年が経過した頃で、国の法人制度改革も施行され、清心会は活動内容の見直しを迫られておりました。その諸問題の解決策として、代議員総会の総意をもって同窓会は再設立されました。同窓会に関わった四年間は、母校の社会的存在の大きさと素晴らしいに触れた四年間であり、この大学の卒業生である事を心から誇りに思う日々でもありました。母校というものは本当にありがたいもので、学びの場としていつも私たちを迎え入れてくれます。これからも母校への尊敬をますます深めながら、母校と同窓会の発展を心から応援し続けたいと存じております。

かなことは、「現代人が大切なものを忘れたこと」に気付かず、社会の変化の加速した時代に振り回されてきた」ということではないでしょうか。文化・金融工学・メディア等の変化も過去にない程のスピードで進んでいます。変化があまりにも早いスピードで進むので、立ち止まって自分を確かめる機会をのがし、自分自身を見失うという大きな危険に、今私たちはさらされています。

人間の生涯は大海原での航海のように、おだやかな春の海のような平和な時もあり、荒れ狂う嵐の時もございます。このような人生であるからこそ、人類は困難を乗り越えようと偉大な進歩をなしとげてまいりました。人間は誰しも長い遠洋航海の人生にあつて、大きな潜在的能力つまりヒューマン・ポテンシャルという可能性を秘めた存在でございます。苦しみや悩みに満ちた人生の一大危機にぶつかった時こそ、それを自分の中の潜在的能力を呼び起こすきっかけとして受けと

生活の中に活かし、皆様もっていらっしやる尊い可能性を信じて果敢にチャレンジし、社会に貢献できる自立した女性になっていかれますよう心から期待しております。

のです。

相田みつをさんの詩に、「つまづいたおかげで」というのがあります。

つまづいたり  
ころんだりしたおかげで  
少しずつだが自分のことが  
わかってきました。

あやまちや失敗を  
くり返したおかげで  
人のことをいう資格のない  
自分に気がつきました。

そしてー  
いざという時の  
自分の弱さとからしのなさが  
よくよくわかってきました。

だから  
つまづくのもおかげさま  
ころぶのもおかげさまです。

私の心にひびく詩です。なぜなら私に当てはまるからなのでしょう。感謝しがたいことも、「そのおかげで」と考えれば、感謝になります。「…のせいで」と考えるのでなく、「…のおかげで」と考え、そして、「神さま、ありがとうございませ」と、お礼を申しあげる人間になりたいと思います。

皆さまお一人おひとりが、大学を卒業して以来、ご自分の「人生のレポート」を書き続けていらっしやいます。涙の跡も、後悔のページもあることでしょう。それらすべてをひっくるめて、「喜び、祈り、感謝」のレポートであり、また、折ってあります。大切に。



大学創立六十周年記念式典挙行

昨年十二月七日、カリタスホールにおいて、来賓、現旧教職員、学生代表、卒業生等約三百八十名の列席のもと、記念ミサ・記念式典が厳肅かつ盛大に挙行されました。

その後、会場をカリタスラウンジに移し、祝賀会が和やかに行われました。



(三末篤實司教による記念ミサ)

大学は今？

創立から六十年、大学は伝統を継承し、時代の要請に応えながら発展してきました。皆様が卒業されてから、大学がどのような変化を遂げたか、ご存知でしょうか。今の大学を紹介します。

文学部

英語英文学科

一九四九年の大学設立と同時に最初の学部として学芸学部英文学専攻が設置されました。一九五二年に文学部英文学科に変更され、一九八二年に今の学科名に変更されました。

この学科では、高度な英語力の習得とともに、英米文学、英語学、言語学、比較文化、英語教育などを学修し、国際人にふさわしい広い視野と教養を養います。

日本語日本文学科

一九五二年に文学部国文学科が新設されました。一九八二年に国語国文学科に変更され、一九九九年に今の学科名に変更されました。

この学科では、日本語の表現方法、日本文学、日本文学を学び、書道や文学創作を通して発想や表現力を豊かにします。

現代社会学科

二〇〇三年に開設されました。この学科では、現代社会の仕組みや諸問題をさまざまな視点で分析。社会学から考古学まで幅広い分野を学びます。

人間生活学部

人間生活学科

一九四九年の大学設立と同時に最初の学部として学芸学部家政学専攻が設置されました。一九五二年に家政学部家政学科に変更され、一九九六年に現在の学部学科名に変更されました。

この学科では、私たちの生活を家族、

福祉、消費、環境などさまざまな視点から考察します。

児童学科

一九六四年に家政学部児童学科として開設されました。一九九六年に現在の学部名に変更されました。

この学科では、心理学、福祉学、教育学、芸術学、文化学から、子どもを取り巻く環境を研究します。

食品栄養学科

一九六五年に家政学部食品栄養学科として開設されました。一九九六年に現在の学部名に変更されました。

この学科では、生活習慣病などの病氣予防・治療へのニーズが高まる中、管理栄養士を目指し、食や健康の研究をします。

大学院設置

一九九五年に初めて大学院が設置され、以来、修士・博士課程ともに充実化しています。

文学研究科

日本語日本文学専攻 博士前期・後期課程  
英語英文学専攻 修士課程  
社会文化学専攻 修士課程

人間生活学研究科

人間生活学専攻 修士課程  
人間発達学専攻 修士課程  
(人間発達学コース・臨床心理学コース)  
食品栄養学専攻 修士課程  
人間複合科学専攻 博士後期課程

さらなる国際化

米国、英国、ベルギーに姉妹大学があります。

現在は、米国、英国、台湾、中国、豪州、カナダの十二大学と留学協定を結び、半年～一年の留学で修得した単位を母校の卒業単位に変換できるようにになりました。

「夏季海外英語研修」は、カナダの大学の英語研修プログラムに参加しますが、これに参加すると外国語科目2単位の取得ができます。

夏期休暇を利用した「マレーシア奉仕団」は、マレーシアの障害者施設でボランティア活動を行うもので、一九八〇年から毎年行っています。

就職活動支援

文部科学省が募集した「平成二十一年度大学改革推進事業学生支援プログラム」に「こころをつなぐ学生支援―社会の要請に応える就職支援を中心に」というテーマで応募し、二〇〇九年七月七日付けで採択されました。

この事業は、最近の困難な経済状況下での、学生の就職活動を支援するものですが、この取組が文部科学省からG P (Good Practice) の略で「優れた取組」を意味する」として認められました。

卒業生も大学再訪

母校の教員や学外講師による公開講座が行われており、社会人講座、実技講座、文学講座、聖書の講座などがあります。学生、卒業生、一般の方が参加できます。また、母校で開講している特定の科目だけを履修・聴講できる科目等履修生制度や聴講生制度もあります。

エンジェル会とともに

岡本圭子 さん

二十二期・国文



社会に奉仕する同窓生の会として「エンジェル会」は平成十四年に発足し、翌十五年旭川荘で活動を始めました。

岡本さんはスタートの時からエンジェル会とともに歩んでこられました。

大学の図書館司書として四年間勤務の後、結婚。子育てが一段落した五十歳の年、代議員に指名され、社会の役に立ちたいとの思いからボランティア部に所属されたのです。

初めて睦学園に出かけ重度の障害がある人に対面した時は今まで経験したことのない感動で胸がいっぱいになり、泣きながら帰ったと語ってくれました。現在は睦学園のお世話に加え、療育園の子供達の見守り、児童院でのオシメ畳みと支援活動にひたむきです。岡本さんにとっても、楽しい行事は外出の介添。赤穂の海浜公園、岡南飛行場等々、子供達は出かけた時の事を何年経っても嬉々として話してくれるそうです。

入所している皆さんの笑顔、先生方の信頼、そしてエンジェル会の仲間との連帯が励みとなって活動は八年間続いてきました。

「できる人ができる時に」を信条にエンジェル会の拡がりにも情熱を傾ける岡本さん。「一人でも多くの同窓生のご参加をお願い致します」と力がこもります。

ボランティアをしていると「いい心がけですね」とか「徳を積んでいるんだね」とか言われますが、「清心の卒業生が持っている『人は皆、大切な人』という思いを実践しているだけです」と微笑む岡本さんでした。



「おかやまあかいはな道化教室」主宰

土井裕子 さん

三十八期・英文



「おかやまあかいはな道化教室」は、笑えるカラダと環境づくりというテーマのもと、二〇〇二年九月に、バッチ・アダムス医師を招聘して、岡山旭東病院主催で、講演会

を開いたのがきっかけとなって始まりました。道化師の目線で物事を見つめると、笑いの種は周りに転がっている。高校生以上の方を対象に、まずは自分自身が笑える身体をつくっていきながらそれを周りに広げて行くということを目指し、年に五回程度集まり、大人が様々なワークを通じて、真面目に遊びながら学んでいます。この世話人を務めているのが、土井裕子さんです。役割は、「つなぐ」こと。講師と参加者の架け橋になりながら、自分自身も道化の心を学んでおられ、教室だけでなく課外活動も行なっていて、講演や公演会の企画運営をしたり、毎年ハンセン病療養所の邑久光明園の夏祭りに出かけて笑顔を届けておられます。

「人と人との関係も希薄になり孤独感や不安感、ストレスが蔓延している今の社会。そんな社会を少しでも好転させる突破口になりえるのは、思いやり溢れるユーモアなのではないでしょうか。教室も今年八年目になります。これからも笑顔の種が広がって、少しでもあかいはなを咲かすことができるように、地道に続けて行きたいと思っています」と熱い思いを一生懸命語ってくださいました。



インドネシアでの挑戦

奥田麻衣子 さん

五十三期・児童



「何事もまずは自分の目で見る」と。この思いをモットーに、奥田さんは大学卒業後、様々な挑戦をしてこられました。現在は、インドネシアのジャカルタ日本人学校で小

学校教諭として日々奮闘されています。大学の頃から在外教育施設で教えることに興味を持たれており、インドネシアには一年前に赴任されました。初めての場所、初めての担任と初めてのことはかりでしたが、「自分の新たな挑戦」と意気込み、自ら選んだ場所のでいきいきと輝いておられます。その背景には、「置かれたところで咲く」という渡辺和子理事長の教えをはじめ、本学での学びが活かされていると言われていました。

「子どもたちが、自分たちで何かをやりたいと挑戦する姿を目にした時、連絡帳や電話などで保護者の方から温かい言葉・見守って下さる言葉をいただいた時」改めて、やりがいを感じるそうです。また、野球が大好きな子が「今のぼくの夢は先生だ」と言ってくれた時、自分が子どもたちに夢を与えられる大人であると実感したと語られました。

そして仕事以外の時間は、インドネシア理解のために持ち前のフットワークの軽さで様々な所に足を運ばれています。例えば休みには、学校があるジャカルタから飛び出し、多くの島の現地校を訪れたり、現地の方と友達になりそれぞれの文化を共有しておられます。

これからも生徒とともに成長し、自分の花を咲かせていきたいと、輝くような笑顔で抱負を語ってくださいました。





## 奨学生支援バザー

平成二十一年度「大学祭協賛・奨学生支援バザー」は、十一月十四日・十五日に大学ジュリーホールにて開催され、無事終了することができました。

当日は各地の同窓生から寄せられた数多くの寄贈品にバザー部員が六月から作ってきた品々も加わり、机いっぱいになべられました。また、開始前から同窓生・学生たちの他、地域の皆さまにもお出かけいただき「奨学生支援バザー」が定着していることを実感いたしました。

渡辺理事長、高木学長にはお忙しい中をお立ち寄りいただき、喫茶コーナーでは同窓生との語らいのひとときをお過ごしになりました。

なお、バザー収益金は「奨学生基金」とさせていただきます。皆さまの温かいご支援に深く感謝いたします。

今年度は十一月六日(土)・七日(日)に開催いたします。引き続き母校の学生支援のために皆さまのご協力をお願いいたします。



## 平成21年度バザー協力者一覧（年度別・敬称略）

## 奨学事業

◆平成二十一年度奨学生指導・報告会◆

奨学金委員会では、平成二十一年五月十六日と十一月二十八日の二回、平成二十一年度奨学生に対し、指導・報告会を行いました。

一回目は、奨学生も決意発表というところで、緊張した面持ちでしたが、二回目は、なごやかな雰囲気です、自覚を持ち、成長している奨学生の様子が感じられました。

◆新たに五名の奨学生を決定◆

平成二十一年十二月五日に選考会を開き、厳正な審査の結果、五名の奨学生を選出しました。

今回より、応募の対象者が本学の学生・大学院生のみとなりました。



## 公務員・教員試験対策講座

本年度の受講者数は次の通りです。

公務員試験対策講座 39名

教員試験対策講座 38名

平成二十一年度 同窓会奨励賞

活動が顕著な以下の部活動に対して、同窓会から奨励賞を贈りました。

● 学術文化の部

■ 団 体： I S A， 放送研究部， グリークラブ， 英語演劇部

■ 個人：

## ● スポーツの部

■ 団 体：陸上競技部，フィギュアスケートクラブ

## マナー講座

学生支援として毎年開催しているマナー講座は、社会人となり生き生きと自分らしく輝いてゆくための実践マナー講座として開講しています。

平成二十一年十月二十八日、全日本作  
法会教授、吉井睦美氏に「就職活動に役  
立つ実践マナー講座」と題してご講話を  
させていただきました。

## 1 企業の求める人材

## 1 企業の求める人材

2 面接を前にして

#### 4 話し上手は聞き上手

5 お迎え三歩 見送り七歩

6 いざというとき役立つ贈答品

事例と実践を通して丁寧にご指導をいただきました。

だきました。

古来から引き継がれているよき伝統は、現在に至っても決して褪せることなく、

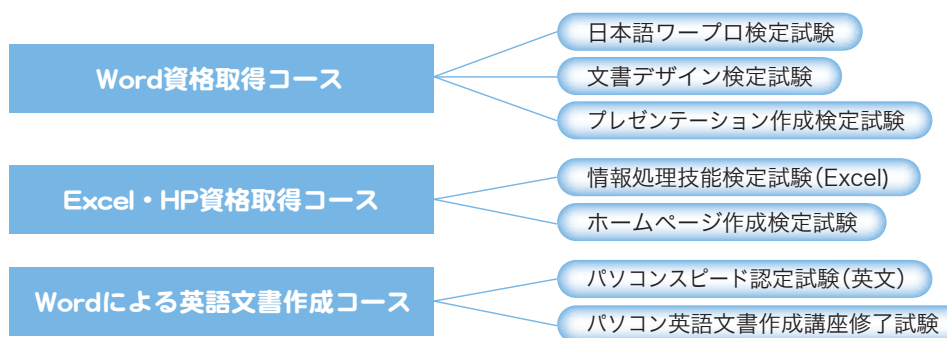
毎日の日常生活の中で、基本的マナーが欠落しつつある現代においては、より必要ではないかと感じました。

在校生への支援事業の一環である「マナー講座」を、これからも充実させてゆきたいと考えております。



パソコン資格取得講座

本年度より、学生の要望に応え、エクセルのコースを新設しました。また、コースの名称も資格取得を目指すことを第一に、左記のように変更しました。





## ホームカミング

平成二十一年六月二十八日、大学構内において渡辺和子理事長、高木孝子学長、来賓の先生方のご出席の下、第十五回ホームカミングデーを開催いたしました。渡辺理事長が平成二十年秋、帰国された記念にご講演をお願いいたしましたところ、心よくお引き受けくださいました。大学の施設を使用させていただいたおかげで、四百五十五人の同窓生が集い、アットホームで心温まる会となりました。

午前、午後の二部構成とし、第一部はカリタスホール二階で渡辺理事長より「置かれたところで咲く」と題するご講演をいただきました。お元気なお姿を拝見し、そしてお言葉の一言一言が心にしみこむようなご講演で、まるで学生時代に帰り、人格論の講義を受けているような錯覚に陥りました。

最後に女専の校歌であるイマキュラタの合唱と、全員での大学歌の大合唱で、会場全体が盛り上がりしました。

第二部は「同窓生の集い」として会場をカリタスホールラウンジとジュリーホールラウンジに移しての昼食会といたしました。同期会を持たれた方も数多くありました。「卒業以来何十年か振りに大学に帰って来られてとてもうれしい」と言ってくださった方もあります。食事後、渡辺理事長は二会場を回られて同窓生と親しくお話をされたり、ご一緒に写真に入られたりと引つ張り嵐の状態でした。

「行つていらつしやい」と、卒業時に送り出していた大学に帰って来た、本当の意味でのホームカミングとなりました。今年度は「敬老の日」に開催する予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

## チャリティー公演

チャリティー公演をおえて

第四回チャリティー公演実行委員長  
二十一期 国文 伊丹 三保子

平成二十一年七月十九日、岡山シンフォニーホールにおいて、第四回チャリティー公演「黒柳徹子講演と漆原啓子ヴァイオリンコンサート」を開催いたしました。

「一番大切なのは関心をもつこと。」ユニセフ大使として二十五年。黒柳徹子氏は子どもが必要とする国々を訪問し、目の当たりにした飢餓や貧困の現状を熱く語られました。



期卒業生を中心に足掛け三年。希望の多かった黒柳氏を講師にお迎えできたことは大きな喜びとなりました。また常に高水準の演奏で指揮者・楽団員など音楽家の間でも定評のあるヴァイオリニスト漆原啓子氏の優しく、力強い調べに魅了された音楽の旅。

チャリティー公演の収益金は黒柳氏を通じてユニセフに二七〇、六八五円、難民教育基金へ二〇四、六八四円寄付することができました。両団体から有効活用を約束する感謝状と黒柳氏からは「やさしい気持ちを持ち続けて下さい」と直筆の手紙が届きました。この公演会の実現には、同窓生のみならず「世代を超えて広く社会に貢献する」という主旨に賛同された、多くの方々の温かい支えがありました。心よりお礼申し上げます。

## ボランティア

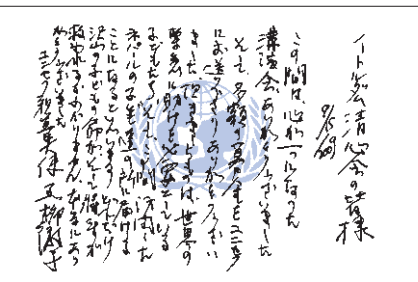
エンジェル会

エンジェル会は、清心女子大学の同窓生が活動部員となり、旭川荘でボランティア活動を行っています。

療育園・睦学園での園生とのふれあい活動です。おやつづくりや学習、車椅子でのお散歩など施設行事のお手伝いや外出援助など、いろいろなかわりをさせていたいています。また、児童院では、おしめたみや衣類の修繕なども行っています。

私たちの活動は、無理をしないので長く続けることができ、始めてから八年になります。旭川荘では「エンジェルさん」と呼ばれ、信頼をいただき、心あるお母さんの役割をさせていただいています。

園生は、障がいを持っていますが、明るくてピュアな心を持ち、一生懸命生きています。とてもかわいいです。その姿に、私たちは逆に元気をいただいています。同窓生のみならず、「エンジェルさん」活動、一緒にしませんか。



## ゆめ文庫 新刊目録

- よこをむいてにこっ  
安寿姫と厨子王丸  
牛若丸
- うさこちゃんと どうぶつえん  
きつねとつきみそう  
うさこちゃんとうみ  
バオちゃんのクリスマス  
ノントンのたんじょうび  
つききのいえ  
いっすんぼうし  
ゆきのひのうさこちゃん  
おひるちゃん  
ねずみくんとホットケーキ  
てぶくろをかいに  
ふゆはふわふわ  
また、ねずみくんのホットケーキ  
ピエロのニノ  
あかいくるまをさがせ  
だから、ねずみくんのチョコキ  
はるはゆるら  
あんぱんまんといきまん

同窓会の会報で「ゆめ文庫」の活動を知り、点字絵本を作るグループに入っていたいで、もうすぐ一年。とにかく、楽しくて仕方ない。月に二回の活動日が待ち遠しい。

初めての点字挑戦で、作業はなかなかかからない。やり直して、やり直して、やっとでできた点字絵本。感動！感動！感激です。点字にこんなに楽しく取り組めるなんて、思ってもみませんでした。グループの中にも、自然に溶け込んでいました。ほめ上手な先輩方に支えられて、楽しいだけでなく、学ぶこともたくさん。楽しみながら、学びながら、ちょっぴりボランティア気分も味わえて、気分はハッピー！

決して頑張っているわけではありません。点字絵本作りが、楽しくて仕方ないので、私は、今「ゆめ文庫」に恋しています！

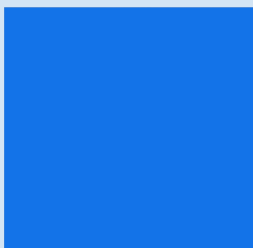
(十九期・児童 山部ルミ子)

## ゆめ文庫

## おめでとうございます

平成二十一年度「第二回文部科学省後援硬筆書写検定試験2級優良賞」を授賞して

報告を受けたとき、とても驚く反面、信じられない気持ちで一杯でした。なかなか忙しくて練習できない日があったのですが、2級の試験の日には、教えて頂いたこと練習してきたことを全て出してきました。これも田中先生のご指導があったからのことだと思っています。きつと一人では取ることでない賞でした。この経験を大切により上の級を目指して頑張りたいと思います。



日文 四年

このたび、ペン習字2級合格の際に、優良賞という素晴らしい賞を頂くことができました。初め、田中先生からこのよう

## 平成22年度 奨学生支援バザー

- 日 時 11月6日(土) 11:00~14:00  
7日(日) 11:00~14:00
- 場 所 ジュリーホール ラウンジ
- 内 容 手作り品等の販売、喫茶コーナー
- お願い ・手作り品、タオル、シーツ、日用品、食料品などをご提供ください。中古品はご遠慮ください。  
・寄付金も受け付けます。同封の振込用紙をご利用ください。

## 手作り講習会のお知らせ

バザーに出品する作品を、いっしょに作ってみませんか？  
皆様のご参加をお待ちしています。

- 日 時 第2火曜日・第4土曜日  
10:00~14:30(ご都合のいい時間にどうぞ)
- 場 所 ルルド館 第一会議室

## エンジェル会の活動

- 療育園 第3・第4土曜日(10:00~12:00)  
子どもたちの話相手、絵本の読み聞かせ、学習、散歩、おやつ作り、外出等諸行事(お祭り等)への参加
- 睦学園 第2水曜日、第2・第4火曜日(10:00~11:00)  
レクリエーション、散歩、買物等の車椅子介助
- 児童院 第3火曜日(12:00~14:00)  
衣類の修繕、簡単な裁縫(上手下手は関係ありません)おしめたたみ

## ゆめ文庫の活動

- 日 時 第2・第4木曜日 10:00~16:00
- 場 所 ルルド館 第二会議室(2F)
- 内 容 ①点訳絵本の作製と貸し出し  
(一般の方・岡山盲学校小学部の方)  
②点訳絵本蔵書目録の作成  
③「会報」の点訳(パソコン)

ボランティアをしてくださる方 募集中！



## 同窓会館利用のしおり

### ● 使用できる人

- ① 学生・同窓生及びその家族
- ② 岡山清心女子専門学校及びノートルダム清心女子大学 現旧教職員（客員）及びその家族
- ③ 施設に余裕のある場合、付属校・姉妹校関係者及びその家族
- ④ その他、同窓会会長が許可した者

### ● 使用目的

会合・研修・宿泊

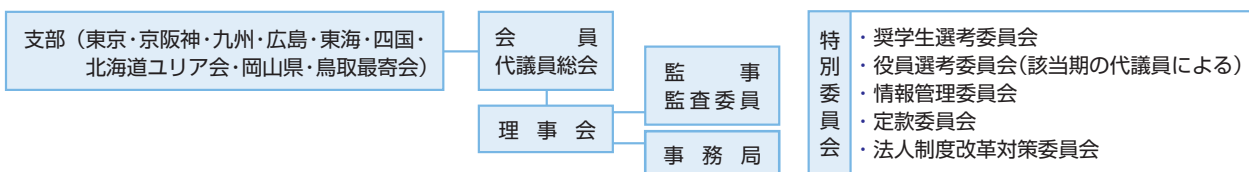
### ● 休館日

日曜日・国民の休日・創立記念日・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

終身会費の納入を  
お願いいたします。

部屋の名称		収容人数	使 用 料				冷 暖 房 費 超過料金等
			(会議・会合等) 4時間以内 平 日：9時～16時 土曜日：9時～14時30分		宿泊(1泊・1名) 16時～翌日9時		
			① ②	③ ④	① ②	③ ④	
1 F	第1会議室	25人	3,000円	4,000円			①冷暖房費 ・会議等…1室 700円 ・宿 泊…1人 200円  ②会議等の超過料金 ・1時間につき各料金の2割  ③特別に使用する電気代は実費
2 F	第2会議室	14人	1,500円	2,000円			
	う め(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円	
	かえで(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円	

## 組 織 図



## 分 掌

文化講座	生涯教育	公 演	奨学金事業	マナー講座	ボランティア	バザー	ホームカミング	広 報	総 務
・ 着付け・謡曲 ・ 生け花	・ 生涯教育支援	・ チャリティー公演	・ 奨学生選考 ・ 奨学生指導	・ 学生支援	・ ゆめ文庫 ・ エンジェル会	・ 奨学生支援	・ ホームカミングデー	・ 会報 ・ 刊行物 ・ ホームページ	・ 財務管理 ・ 会計 ・ 会館管理 ・ 会議・書記 ・ 支部総括 ・ 特別委員会

## 個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。  
(情報収集と使用目的)

個人情報の収集は、本会の必要な範囲に限定し、使用目的を明確にする。

同窓会に登録されているデータは、ノートルダム清心女子大学同窓会・(社)教育振興ノートルダム清心会からの連絡送付

● 同窓会・各支部・各支部会の活動支援

● 会員確認調査

● 会員名簿の作成  
の目的範囲を超えて使用及び提供はしない。  
(会員の申請)  
会員は、本人の個人情報の開示・訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。

## 住所変更届けのお願い

住所等に変更があった場合は、すみやかに事務局までご連絡ください。



東京支部総会

(平成二十二年六月七日)

久しぶりに会った恩師や友人達との心温まるひと時。和やかな話合いの輪があちこちにできました。



東海支部総会

(平成二十二年十月十五日)

アットホームで、家族のような連帯感に包まれた総会でした。



岡山県支部総会

(平成二十一年五月十日)

渡辺理事長のご臨席と高木学長のご講話をいただき、100名の同窓生が集い、和やかなひとときを過ごしました。



北海道ユリア会総会

(平成二十一年八月二十五日)

懐かしい学生生活の話などに花を咲かせ、親交を温めました。

## 平成22年度支部総会開催予定表

支 部 名	日 時	場 所	招 待 者(敬称略)	支 部 長	連 絡 先
* 東 京 支 部				浅井 洋子	(03)3331-7260
京 阪 神 支 部	8月22日(日) 11:00～14:00	ホテルグランヴィア 京都	渡辺理事長・高木学長 江草安彦・小田朗美	藤井 順子	(078)936-5214
九 州 支 部	10月17日(日) 11:30～14:00	ホテル日航 福岡	渡辺理事長・高木学長 濱野恵一	星野 郁子	(0942)32-1636
広 島 支 部	7月11日(日) 11:00～13:30	ホテルグランヴィア 広島	渡辺理事長・高木学長 奥山清子	藤本 定子	(086)921-8496
* 東 海 支 部				西山 昭代	(0564)32-7593
四 国 支 部	9月12日(日) 11:00～14:00	全日空ホテル クレメント高松	渡辺理事長・高木学長 小嶋博巳	河原 陽子	(087)835-8512
* 北海道ユリア会				小池 裕子	(011)561-7780
* 岡 山 県 支 部				桑田 優子	(0866)92-5465
鳥取最寄り会	11月23日(火)	未 定	未 定	三輪 洋子	(0859)27-4484

\*の支部は、平成23年度に支部総会を開催する予定です。

## ★ 支部会費納入のお願い ★

同窓生は、同窓会会則第2章第7条「会員は、すべていずれかの支部に所属するものとする。」により、必ずいずれかの支部に所属することになっております(※どの支部に所属しているかは、同窓会支部規程をご覧ください)。支部会費の納入をよろしくお願いいたします。

第二回同窓会代議員総会

平成二十二年同窓会代議員総会は、五月二十九日（土）、東京支部、東海支部、京阪神支部、広島支部、四国支部、鳥取最寄り会、岡山県支部の支部長の参加で開催されました。

出席者二十九名、委任状二百六十四名で定足数を満たしており、提出議案はすべて承認されました。

**第一号議案**  
平成二十一年度事業報告及び収支決算承認の件

**第二号議案**  
平成二十二年事業計画及び収支予算承認の件

**第三号議案**  
次期役員選任承認の件

**第四号議案**  
同窓会会則の変更承認の件



監査報告

ノートルダム清心女子大学同窓会

右記のとおり相違ありません。

平成22年5月19日

監査委員 高橋みどり  
監査委員 横溝宏美  
監査委員 田中恵子

平成22・23年度 役員名簿

理事	久住瑠璃子
* 理事	実光 詔子
理事	○ 坪和 陽子
理事	○ 宮尾 裕子
* 理事	伊丹 三保子
* 理事	亀山 和美
* 理事	永瀬 ひさ乃
理事	樋口 京子
理事	○ 菊井 優子
* 理事	横溝 洋子
理事	◎ 西室 典子
理事	木村 喜恵
* 理事	水野 妙子
理事	石田 憲子
* 理事	笠原 朋子
* 理事	福田 好子
* 理事	片岡 智子
理事	加藤 正春
理事	菊永 茂司
* 理事	葛生 栄二郎
* 理事	小嶋 博巳
理事	八重樫 直比古
理事	脇 明子
理事	喜多嶋 美枝子
理事	近藤 弦之介
理事	林 喜一郎
監事	高橋 みどり
監事	横溝 宏美
監事	田中 恵子

（\*印は新役員 ◎は会長 ○は副会長）

第九回清心会代議員総会

平成二十二年清心会代議員総会は、五月二十九日（土）、高木孝子学長をお迎えして開催されました。

出席者三十名、委任状二百六十三名で定足数を満たしており、提出議案はすべて承認されました。

**第一号議案**  
平成二十一年度事業報告及び収支決算承認の件

**第二号議案**  
積立金取り崩し承認の件

**第三号議案**  
平成二十二年事業計画及び収支予算承認の件

**第四号議案**  
次期役員選任承認の件

監査報告

平成21年4月1日から平成22年3月31日までの平成21年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- （1）会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- （2）業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- （1）収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- （2）事業報告書の内容は真実であると認める。
- （3）理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄付行為）に違反する重大な事実はないと認める。

以上

平成22年5月19日

社団法人教育振興ノートルダム清心会

監事 高橋みどり  
監事 横溝宏美  
監事 田中恵子



## 本学ホームページに「清心アーカイブ」公開中！

本学ホームページに、写真とエッセーで本学の歩みを紹介する歴史アーカイブ「清心アーカイブ」を公開しています。卒業生の皆様に懐かしくご覧いただければ幸いです。ご意見・ご感想・リクエストもお待ちしております。

### 本学に関する資料情報をお寄せください

女専時代や大学初期の資料をお持ちの方はいらっしゃいませんか。

授業や行事の写真、入学案内、時間割、教科書、行事プログラム、大学からの発信文書、**クラブ活動の記録**（クラブの催し物プログラム、表彰状、ポスター、チラシなど…）をお持ちの方はいらっしゃいませんか。

資料編集室では本学に関する資料を収集し、保存し、活用しています。上記のような資料をお持ちの方は資料編集室までご一報ください。



大学トップページ  
<http://www.ndsu.ac.jp/>  
から「清心アーカイブ」  
のバナーをクリック。

皆様からお寄せいただいた資料情報や、特に収集したい資料については、「清心アーカイブ」に掲載していますので、ぜひご覧ください。

### 資料編集室

TEL 086-252-3107  
FAX 086-252-7035  
E-mail: [archives@pluto.ndsu.ac.jp](mailto:archives@pluto.ndsu.ac.jp)

※ お電話でのご連絡は月～金 9時～16時半（祝・本学休業日を除く）にお願いいたします。

## 博物館学ホール リニューアル



博物館学ホールがリニューアルされました。  
見学及びご活用をご希望の方は下記へお問い合わせ下さい。

### 展示場所

博物館学ホール（ノートルダムホール東棟2階）

### お問い合わせ先

**086-252-3207**（学芸員課程）  
E-mail: [gakugei@post.ndsu.ac.jp](mailto:gakugei@post.ndsu.ac.jp)

※ お電話でのご連絡は月～金 9時～17時（祝・本学休業日を除く）にお願いいたします。



### 入試広報部より

#### 2010年度 オープンキャンパス日程

- 夏のオープンキャンパス  
2010年7月31日(土)・8月1日(日) 12:30～16:30
- 秋のオープンキャンパス  
2010年10月3日(日) 12:30～16:30
- 春のオープンキャンパス  
2011年3月20日(日) 13:00～16:30

詳しくは、ホームページをご覧ください。

入試広報部 TEL: 086-255-5585 (直通)  
URL: <http://www.ndsu.ac.jp/>

### ありがとうございました

#### ーこの春で退職の先生方ー

文 学 部 教 授 足 立 萬 壽 子 先生  
文 学 部 教 授 氏 家 洋 子 先生  
文 学 部 教 授 橋 本 和 幸 先生  
文 学 部 准 教 授 海 野 圭 介 先生  
人 間 生 活 学 部 教 授 大 鶴 勝 先生  
人 間 生 活 学 部 准 教 授 村 主 (大 森) 由 紀 先生  
人 間 生 活 学 部 講 師 宇 都 宮 み の り 先生

### 第20回 生と死を考えるセミナー

「岡山・生と死を考える会」による20周年記念セミナーが、2010年6月20日(日) 岡山シンフォニーホールにおいて、盛大に開催されました。

#### テーマ 現代・生・死

- 第1部 講演  
講 師 高 木 孝 子 氏「かかわりの痛みと喜び」
- 第2部 講演  
講 師 大 江 健 三 郎 氏「注意深くあること」

### 学寮閉鎖

学寮は、平成22年3月に閉鎖され、昭和24年4月の創始以来61年の歴史に幕を降ろしました。  
なお、建物は、9月中旬に取り壊される予定です。

### ノートルダム清心女子大学公開講座

#### A. 社会人講座Ⅷ(前期講座)

時間: 1:30～4:00p.m.  
教室: 630ND  
定員: 150名

##### 【岡山を改めて知る】

- ① 5月29日(土)  
素晴らしき津山洋学の足跡 津山洋学資料館館長 下山 純 正  
昔話・伝説・フォークロリズム 本学現代社会学科教授 小嶋 博 巳  
ー岡山は桃太郎のふるさとー
- ② 6月12日(土)  
岡山の文学者たちー内田百閑、小川洋子などー 本学日本語日本文学科教授 綾 日 広 治  
すしにみる食の豊かさ 本学名誉教授 今 田 節 子
- ③ 6月26日(土)  
坪田譲治と岡山 本学日本語日本文学科教授 山 根 知 子  
岡山の近代洋画 財団法人大原美術館学芸員 柳 沢 秀 行
- ④ 7月10日(土)  
岡山の歴史的都市 本学現代社会学科准教授 河 合 保 生  
南の島 ハワイとの縁 本学人間生活学科教授 横 山 學
- ⑤ 7月24日(土)  
シンポジウム

#### B. 実技講座Ⅸ(前期・後期講座)

時間: 1:30～4:00p.m.  
教室: 美術室(814C)  
定員: 16名

##### 【石膏デッサンを楽しむ】

- 【前期】  
① 5月22日 ② 5月29日 ③ 6月5日  
④ 6月12日 ⑤ 6月19日（すべて土曜日）
- 【後期】  
① 10月2日 ② 10月9日 ③ 10月16日  
④ 10月23日 ⑤ 10月30日（すべて土曜日） 本学児童学科教授 片 山 裕 之

#### C. 文学の世界Ⅹ(後期講座)

時間: 1:30～3:30p.m.  
教室: 630ND  
定員: 150名

##### 【『源氏物語』と古典籍】

- ① 10月9日 ② 10月16日 ③ 10月30日（すべて土曜日）  
本学日本語日本文学科准教授 新 美 哲 彦

#### D. 聖書の世界ⅩⅧ(後期講座)

時間: 1:30～3:30p.m.  
教室: 630ND  
定員: 150名

##### 【良き生と死ー私たちの死を考える】

- ① 10月23日(土)  
いのちに限りがあることを 本学学長 高 木 孝 子
- ② 11月27日(土)  
物語は死をどう語ってきたか 本学児童学科教授 脇 明 子
- ③ 12月18日(土)  
死を背負って生きる 金城学院大学学長 柏 木 哲 夫  
淀川クリスト教病院名誉ホスピス長

#### 申し込み・お問い合わせ

#### ノートルダム清心女子大学「公開講座委員会」

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9  
TEL 086-252-2751 (平日8:30～16:30) FAX 086-252-5042  
ホームページ <http://www.ndsu.ac.jp> E-mail: [opc@post.ndsu.ac.jp](mailto:opc@post.ndsu.ac.jp)



## ホームカミングデーへのお誘い

平成22年度 ホームカミングデーを以下の日程で開催いたします。

お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。クラス会にもご利用ください。

- 日 時： 9月20日(敬老の日) 10:00～15:00(受付9:20から)
- 場 所： ノートルダム清心女子大学 カリタスホールほか
- 内 容： 高木孝子学長講演  
映像による大学の歩み紹介  
同窓生の集い(昼食をとりながらの自由時間)
- 参 加 費： 3,000円(昼食代含む)
- 定 員： 450名(先着順)
- 締 切： 7月30日(金)振り込み分まで
- 申し込み方法： 同封の振り込み用紙をご利用ください。  
(振り込み確認で受付完了となります。  
チケットの発行はいたしません。)
- 注 意 事 項： 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※ 渡辺和子理事長もご参加くださいます。



### 申し込み、お問い合わせ

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9  
ノートルダム清心女子大学同窓会  
社団法人 教育振興ノートルダム清心会  
TEL&FAX (086) 253-8496  
E-mail: rurudo@theia.ocn.ne.jp

ノートルダム清心女子大学の  
ホームページ

<http://www.ndsu.ac.jp/>

を開いて卒業生の方へをクリックして  
同窓会をクリックして下さい。

### 予 告

#### ● 平成22年度 生涯教育講座

今年度は、大学祭(11月6日・7日)協賛の形で行う  
ことにしています。お楽しみに！

#### ● 第5回 チャリティー公演

- 日にち 2011年7月18日(海の日)
- 場 所 岡山シンフォニーホール

※ 2011年2月よりチケット販売を開始する予定です。

詳しくは ホームページをご覧ください。

### 編集後記

会報第46号をお届けいたします。  
この会報をお読みいただいて、一人でも多くの方が、同窓会・清心会の活動に興味を持ち、それぞれの立場から活動に参加して下さるようになればと願っております。

ご意見、ご感想、ご提案等、ぜひ広報部までお寄せください。

#### 会報編集委員

十四期・英文 赤松 康子  
十七期・児童 二階堂悦子  
二十期・家政 大森百合子  
二十二期・英文 尾崎 玲子  
二十八期・国文 西室 典子  
三十九期・英文 熊野早千江  
五十七期・人間生活 奥田麻美子